

日ごろこころがけていることや好きな言葉

お客様の困っていることを解決、喜んでもらえることに生きがい

夢を実現するため、常に問題意識をもってチャレンジ

高校2年生のとき、自動車クラブで車のエンジンをバラしたり、組み立てたりしているうちに、自分も社会の役に立つようなものを創りたいと思ったのが、製品を開発する原点だったかもしれません。製品開発の実現のためには、日ごろから新聞等で幅広い情報収集に努め、「なぜ」という疑問の中から、常に問題意識をもって努力することが必要だと思います。

5年前、ジャパンパック(株)を創業したのは、自分のやりたかった製品開発の夢を実現するため、一度の人生に悔いを残したくないという思いからです。

一番のやりがいは、お客様の困っている問題を解決し、自分で創った開発製品が人の役に立ち、お客様に喜んでもらえることです。

どんなチャレンジにも、苦勞がつきものですが、私は困難にぶつかったときには「自分を信じ、自分には解決ができる」と、自分自身に言い聞かせ、あきらめずにチャレンジするよう心がけています。



プロフィール

1945年 魚津市生まれ

魚津市立村木小学校、西部中学校、富山県立魚津工業高等学校卒
YKK吉田工業(株)、石崎産業(株)勤務を経て、ジャパンパック(株)創業

仕事に関するひとくちメモ等

大企業、中小企業の経験を経て、数年前にベンチャー企業を創業しました。「包装を通じて、常に話題性のある新製品の創造により社会に貢献し、お客様と社員との強い信頼のもと感動を分かち合い、共に学び、共に生き地域にあてにされるオンリーワン企業を目指す」を経営理念としています。特に、環境問題に注目し、環境に優しいパッケージの開発を積極的に進めています。第3回とやま発明賞を受賞した金属缶に代わる使用後廃棄処理が容易な液体容器「Nパック」や、発泡スチロール容器に代わる断熱紙容器「Nクール」を実用化しています。